

『シュトックハウゼン作品の演奏解釈』

シュトックハウゼンは、生涯一貫して、様々な新しい概念を彼の作品に導入し続けた。音楽界の伝統や慣習にとらわれない発想も多く、作品の実演にあたっては、しばしば演奏家の献身的ともいえる努力を必要とする。しかしそれが、彼の「教祖」的なイメージと結びつき、彼の音楽そのものに対する誤解へとつながっていることも否めない。本講座では、シュトックハウゼンが演奏家に何を求めたのか、逆に演奏家がシュトックハウゼンにどのようなインスピレーションを与えたなど、シュトックハウゼン作品の演奏解釈にまつわる問題を、生前のシュトックハウゼンとも関わりのあった松平が、実体験もふまえながら多角的に考察していきたい。

(文責：松平 敬)

◆ 講師：松平 敬 (まつだいら たかし) 氏 プロフィール



バリトン。東京芸術大学、同大学院に学ぶ。現代声楽曲のスペシャリストとして、松平頼暁、湯浅譲二、西村朗、近藤譲、三輪眞弘など80作以上の新作を初演する。全曲無伴奏独唱曲によるリサイタルなど、独創的な自主公演も積極的に開催している。サントリー芸術財団サマーフェスティバル2012では、クセナキス『オレスティア』の壮絶な演奏が大きな話題を呼んだ。9度にわたるシュトックハウゼン講習会参加の経験を生かし、『私は空を散歩する』、『歴年』(洋楽版)など、彼の大作の日本初演にたずさわる。ソロCDとして、多重録音で一人アカペラを実現した『MONO=POLI』(平成22年度文化庁芸術祭・優秀賞)、『うたかた』、一柳慧、ケージなど、通常の五線譜を使用しない作品ばかりを集めた『エクステンデッド・ヴォイセス』を発表。今年の8月にはチューバの橋本晋哉氏とのユニット「低音デュオ」の1stアルバム『ローテーション』を発表。現在、聖徳大学、文教大学講師。

【日時】2015年10月31日(土) 14:00-16:00(開場 13:30)

【会場】BUNCADEMY (東急東横線 学芸大学駅から徒歩1分)

〒152-0004 東京都目黒区鷹番 3-1-3 リエール鷹番 303号

【受講料】2,000円(学生1,500円) ※先着20名

【ご予約・お問い合わせ】info@buncademy.co.jp